



ぶらり相生第5号

平成29年8月

## 「江戸時代を彷彿とする原風景ここにあり」

現在の兵庫県の領域には、江戸時代篠山藩、柏原藩、明石藩、小野藩、三草藩、姫路藩、林田藩、龍野藩、赤穂藩、安志藩、山崎藩、三日月藩、福本藩、尼崎藩が存在しました。さらに、幕府の直轄領も存在しました。



右の写真は、若狭野町若狭野にある浅野陣屋跡です。浅野といえば赤穂義士で有名な浅野家を思い浮かべます。ここ浅野陣屋は、1671（寛文11）年、赤穂城主浅野長直の養子長恒が分家したことはじまり、長恒は徳川幕府直参の旗本となり、若狭野に陣屋を構えました。知行は若狭野12ヶ村3千石です。3千石の旗本宅としては豪壮で、1600㎡の敷地内に本宅・門・倉庫・馬屋・武器庫などが確認されています。

ちなみに、お隣赤穂には大石邸長屋門が残されています。1701（元禄14）年に起こった元禄赤穂事件の大石内蔵助もここで生活をおくったとされています。1729（享保14）年の火災で主屋などの多くの建物が焼失しましたが、この長屋門だけは今に伝わっています。早水藤左衛門と萱野三平が詳細を伝えるべくこの門を何度もたたき、大石内蔵助に事の次第を伝えたと言われる歴史的舞台の一つです。

ここ相生に世に有名な赤穂事件に関係する歴史文化遺産が、存在することは地域の宝です。